

特集

感染症診療

それ, ホント?

座談会

常識と非常識から感染症診療の基本を振り返る
 ……松永直久・岸田直樹・遠井敬大・佐藤高史

総論編

体温とCRPだけに注目してはいけないってホント?
 ……松永直久
 治療期間は疾患によってある程度決まっているって
 ホント? ……柳 秀高
 抗菌薬投与中に「熱が持続」あるいは「再度発熱」
 した場合には、別の抗菌薬に変えればいいって
 ホント? ……法月正太郎

外来編

39℃の発熱でも抗微生物薬が不要のことがあるって
 ホント? ……岸田直樹
 外来で1週間以上発熱が続く患者の診かたにコツが
 あるってホント? ……野口善令
 渡航者の発熱でも診療の基本は同じってホント?
 ……忽那賢志
 肝炎や咽頭炎でも性感染症のことがあるってホン
 ト? ……村松 崇
 診療所でもグラム染色ができるってホント?
 ……本康宗信
 診療所でも血液培養ができるってホント?
 ……遠井敬大
 感染性腸炎であっても抗菌薬を投与しなくていいこ
 とがあるってホント? ……倉井華子
 腸管出血性大腸菌感染症(血清型 O157 など)に抗菌
 薬は危険ってホント? ……大路 剛
 調理師から病原性大腸菌の除菌を頼まれたけど、抗
 菌薬を投与しなければいけないってホント?
 ……中村 朗
 フルオロキノロン系薬の投与には慎重にならなけれ
 ばいけないってホント? ……森岡慎一郎
 外来で経口マクロライド系薬を使う機会は限られて
 いるってホント? ……朽谷健太郎
 外来で経口第3世代セファロスポリン系薬を使う機
 会は限られているってホント?
 ……彦根麻由・相野田祐介
 外来に毎日来てもらってセフトリアキソンを投与す
 ることがあるってホント? ……馳 亮太
 インフルエンザ患者には、すべて抗インフルエンザ
 薬が必要ってホント? ……畠山修司

入院編

感染症のフォーカスがはっきりしない場合でも、
 診断を絞っていく方法があるってホント?
 ……藤田崇宏
 感染性疾患(肺炎、尿路感染症、蜂窩織炎など)で入
 院する患者には、血液培養を提出する必要がある
 ってホント? ……根本隆章
 繰り返す蜂窩織炎を伴う菌血症で、*Helicobacter*
cinaedi という菌が検出されるってホント?
 ……荒岡秀樹
 菌血症がきっかけで悪性疾患が見つかることがある
 ってホント? ……見坂恒明
 肺炎を疑う患者では、痰のグラム染色・培養を提出
 する必要があるってホント?
 ……矢野勇大・八重樫牧人
 喀痰抗酸菌塗抹検査で1回陰性でも、排菌している
 肺結核が見つかることがあるってホント?
 ……竹田 宏
 ドレナージできている胆道感染症では、菌血症事例
 でも5日間の抗菌薬投与で十分ってホント?
 ……横江正道
 グラム陽性球菌菌血症の場合、陰性確認の血液培養
 が必要ってホント? ……関谷紀貴
 de-escalationの時にMICが低い抗菌薬が良いわけ
 ではないってホント? ……有馬丈洋
 大腸菌菌血症でも比較的狭域なアンピシリンで治療
 できる場合があるってホント? ……吉藤 歩
Enterobacter 属の難治性感染症で、第3世代セファ
 ロスポリン系薬が効かなくなることがあるって
 ホント? ……原田壮平
 ESBL産生大腸菌による尿路感染症でカルバペネム
 系以外も治療の選択肢になることがあるってホン
 ト? ……山口征啓
 入院時に培養を提出せずにカルバペネム系薬などの
 広域抗菌薬を始めてしまった場合でも、
 de-escalation できるってホント?
 ……小林勇仁・中村 造
 バンコマイシンの初期投与設計や血中濃度に基づく
 投与量の調節にはコツがあるってホント?
 ……添田 博
 中心静脈カテーテル関連菌血症の症例で、中心静脈
 カテーテルを抜去して抗菌薬を投与しても菌血
 症が持続することがあるってホント?
 ……松永直久

感染症のために予定手術を延期した患者が、手術を受けられるための治療期間があるってホント？
.....矢口義久・福島亮治
感染症があっても悪性疾患の化学療法を始めなければならぬケースがあるってホント？
.....馬渡桃子
中心静脈ポート感染を、ポートを抜去せずに治療できるってホント？..... 冲中敬二

連載

あたらしいリウマチ・膠原病診療の話
診断力を上げる
循環器 Physical Examination のコツ
異常所見を探せ！ 救急 CT 読影講座
総合診療のプラクティス
患者の声に耳を傾ける
魁!! 診断塾
目でみるトレーニング
Step up 腹痛診察
西方見聞録
研修医に贈る 小児を診る心得

予告

Vol.52 No.7 心不全クロニクル 患者の人生に寄り添いながら診る
Vol.52 No.8 自信がもてる頭痛診療